雪で歓迎 美浦村青年66名来村

本村青年と交流深める

友情のスクラムを組む
横越、美浦村青年

横越村と姉妹村である茨城県美浦村青年一行六十六名（引率団長葉梨教育長）が二月九日本村を訪れ、三日間青年の家庭で民泊し、地元青年と交流会を行ったほか、家族の人たちとも団欒を行い交友を深めて帰朝した。

一行は、九日午前五時新潟駅に到着、間教育長、高橋連青団長らに出迎えられ、新潟市内、北方博物館、瓢湖を見学したあと午後十二時横越村公民館に到着、本村青年ら多数の出迎えをうけた。

昨年十一月本村青年が美浦村を訪れているため、顔見知りも多く、再会風景は友情にみちあふれていた。

一行が新潟駅に到着したときは、雪は降っていなかったが美浦村青年を歓迎するかのように、北方博物館、瓢湖を見学しているときから本格的に降りはじめ、新雪の庭園のみごとさを堪能させた。

歓迎会は、本村青年、来賓ら多数の二拍子の拍手の中美浦村青年が入場した。

神田村長、高橋青年団長の歓迎のあいさつのあと美浦村葉梨教育長の村長メッセージの朗読と浅野青年団長のことばがあった。

歓迎アトラクションには、本村青年の神楽舞、四方舞、佐渡おけさ、亀田甚句など郷土芸能が披露された。

一方、美浦村青年からは、郷土民踊八幡山と自慢ののどが披露された。

十日は午前中六分散会に分かれ、〝今、青年は何をなすべきか〟をテーマで青年団活動と地域発展について熱心に話し合いがされたほか、先回美浦村での交流で話題になった「両村青年の結婚」についても論議されていた。

午後、横越中学校体育館でレクリエーション交歓がされ本村から佐渡おけさと亀田甚句が、美浦村からは、美浦音頭と安中音頭が出され、みんなで踊りを習った。

夜は、地元青年や部落の人たちとの交歓会が行われた。

十一日、公民館で歓送会が行われ、両村青年団長によって寄せ書き交換と今後も更に友情を深めようと硬い握手がかわされた。

親子で真黒、雪やけ

第一回スキー教室開く

村公民館と村体育協会、村スキークラブの共催で二月十三日南魚五日町スキー場で本村初のスキー教室が開催された。

このスキー教室は、冬のスポーツの花型であるスキーを村民から経験してもらうことと村民親ぼくを目的としたもの。

当初四十名定員であったが家族づれ七組、年輩者五名を含む六十名の参加者で、十名程がバスに乗れず、直接現地へ向うほどの盛況。関係者はうれしい悲鳴をあげていた。

当日は、天候に恵まれ、現地は晴天であった。

午前中は、初心者者指導を、午後から雪上ゲームとスキーを楽しんだ。

参加者の中には、スキーをはじめて経験するものが多くゲレンデに大きな穴をいくつもあけていた。

お母さんといっしょにきた子どもたちも多く、家族ぐるみ真黒に雪焼けしていた。

帰りのバスの中はスキー場の楽しい思い出話しに花を咲かせたり、みんなで自慢ののどを出し合い楽しい一日をすごした。

村公民館、村体協では、今後も定員を多くして、家族ぐるみ楽しめるスキー教室と、スキー以外にも村民が一日楽しめるバスハイキングを計画したいといっている。

初心者は、まずスキーのはき方から

人気を呼ぶ きもの着付教室

和服をもっていても自分で着れないという若い人たちが多いようである。また、現代生活で和服は、おしゃれ着と

永らへて学苑訪へば友もまた吾にもまさる真白毛にして
校庭のそびゆるいてふ葉の散りてテニスマッチの日ぞなつかしき
憶出につきぬ名残のおしまれぬまささくるませ幸祈りつつ

二本木　原　ナミ

（三十四年前卒業 高女の同窓会に出席して）

ナフタリンの香りいっぱいのきもの着付教室

こどもサロン

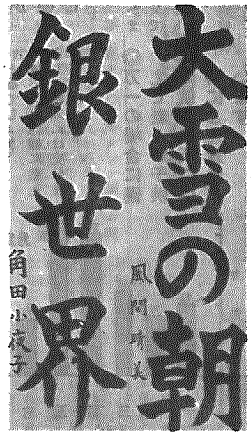
＜書評＞

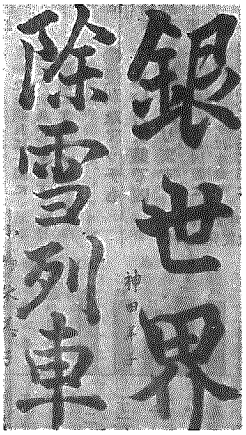
新潟大学書道研究会が主催する。昭和50年度の「県下学童書初大会」が二月に開催されました。

本校では毎年、全校生徒が応募していますが、今回は次の四名がめでたく「準特選」を獲得しました。

手本の書体が非常に個性的なので、大変書きにくかったと思われますが、四名とも手本をよくこなし自分の気持をこめて、いきいきと書いています。

（横越中学校長　江口正巳）





若いお母さんや若い女性の参加が殺到、人気のあった教室であった。

三月、四月は子どもの卒業式や入学式また結婚式などがあるところから関心も深く、されて見なおされ着る機会も増えてきた。そこで、公民館では、二月十五日から毎週土曜日（午後七時から午後九時まで）四回にわたりきもの着付教室を開いた。

講師には、小林ミワ子先生を招き「体形補正、衣紋ぬきと衿づくり衿かけ、名古屋帯のおたいこ結び、基礎的な着付けと着こなし」など実習が

第四回 俳句作品公募

～初心者の方大歓迎～

(1)公募句題（通じて六句）
○陽炎
○絮
○土筆

(2)〆切　四月二十日まで

(3)選者
桑野峰松（新潟）、中山貴美（新潟）、坂爪句峰（新津）、須藤雪笠（中条）、坪谷鉄雨（小阿賀吟社）、今井秀虹（小阿賀吟社）、佐藤志授（小阿賀吟社）、田中都郎（公民館長）

なお、公募作品の中から入選三位までと高点句三位までに賞状を、また作品を寄せられた方には粗品をさしあげます。

どなたも気軽に作品を応募くださるようお願いします。

写真同好の皆さんを募る！

カメラに興味をもっている方、関心をもっている方、写真技術を向上したい方を募っております。

〇広報よこごし〇頒写真の作品研究と同好者の写真技術交流にあなたの参加を期待しています。

詳しいことを知りたい方は、横越村公民館までご連絡ください。

新婚学級

期日　三月十九日　午後六時三十分
会場　横越村公民館
講師　県医務課参事　梶島安子先生
内容　生まれてくる子どものしあわせのために
参加者　昨年八月から今年三月までに結婚したもの。現在婚約し近く結婚されるもの。